

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

第80号 2010年 1月

やどりき水源林ニュース

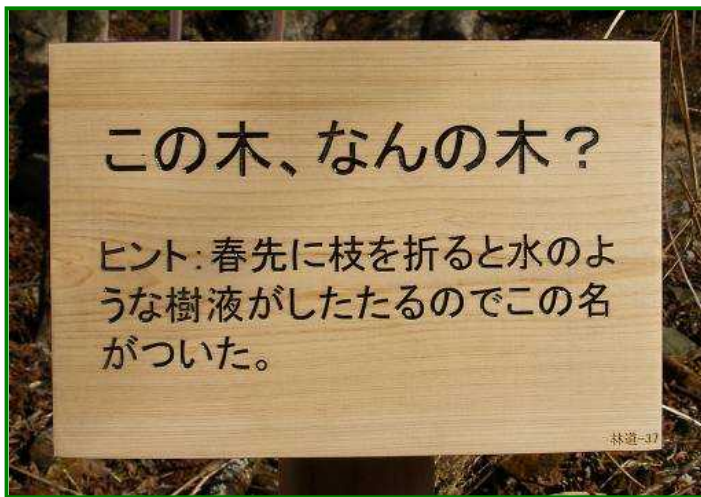
発行(財) かながわトラストみどり財団 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会
 220-0073 横浜市西区岡野2 12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内
 045-412-2255 URL: <http://www.ktm.or.jp> E-mail: midori@ktm.or.jp

定例観察会のお知らせ(費用等負担はありません)

毎週土曜・日曜に「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。午後1時まで、やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、**冬季(12月・1月・2月)**は安全確保のため休止します。

この木なんの木?

やどりき水源林に樹名板が立ちました



周遊歩道の林道、A、Bの3コースに80本の樹名板が設置されました。

これは県が進めている、やどりき水源林環境整備の一環で新設されたものです。

樹名板は県内の間伐材を使用した総桧造りで、水源林の景観にふさわしい立ち姿です。



設置にあたっては、8月から樹木の調査・選定を始め、文言作成、埋設工事と、4ヶ月の間、多くの人々の協力を得て11月末に完成しました。

水源林を訪れる人々が、この樹名板から豊かな情報を得て新しい発見が楽しめるよう期待されています。やどりき水源林の更なるバージョンアップです。



「この木、なんの木?」樹名はいくつ当てられるかな?
 Q & A 樹名板は35本あります。
 樹木調査で幹径を測る
 支柱の埋設、念には念を入れて突き固めます。



丹沢は昔 海底火山だった

1700 万年前、はるか南の海底で生まれました。

12月12日にやどりき水源林で、門田真人先生を講師にお招きして、丹沢の地質を学ぶ研修会を、かながわ森林インストラクターの会が開催しました。丹沢誕生の驚異を説き明かす門田先生のお話に参加者は強く

惹きつけられました。

寄沢一帯が海底火山であった有力な証拠は「枕状溶岩」です。枕状溶岩は深海底に噴出したマグマが急冷されて枕を重ねたような形状に固まったものです。先生の指導で参加者は寄沢でそれらを探し、観察しました。

丹沢海底火山はその後フィリピン海プレートに乗って北上し500万年前に本土に衝突し丹沢山地を形成、100万年前には後を追ってきた伊豆半島が衝突、そのプレート境界が、寄沢の下流、松田町萱沼付近の中津川の峡谷で、そこには国府津松田 神縄 断層が走っています。

ハンマーを使って枕状溶岩のサンプルを割り出す参加者
松田町萱沼付近で門田先生が採取された、有孔虫化石密集石灰岩。これは1500万年前の年代と、この一帯が海底であったことを示しています。



これが枕状溶岩と示す門田先生



林道際にも枕状溶岩の露頭



これも枕状溶岩



1月のトピックス

恒例の寄の山の神祭が今年は1月17日に行われます。この日は山仕事は休み、新年の無事息災と山の幸の豊作を祈る習わしです。写真は年末に、往く年の感謝を込めて社を清める善男善女。



2月の水源林

木々の冬芽がふくらんできました。春はもうすぐです。

写真はクロモジの花芽と葉芽。

